NPO 法人（特定非営利活動法人）
とちのみ支援会

とちのみ

NPO 法人　とちのみ支援会会報
第 5 号　平成 26 年 12 月 10 日発行

会長挨拶

会報 5 号発行に当たり

会長　　小寺　一夫



とちのみ支援会が発足して 15 年目、私が会長に就任以来、3 年目になります。私たちの主な活動は健康講座、手技療法、青少年健全育成講座、そして今年からは新たに婚活事業を始めました。

6 月には利賀村阿別当にて地域の皆さんに対して健康講座を行いました。皆さんには大変喜んで頂いたものと考えております。60 歳以上の方が多く、ここにも少子高齢化の影響が出ています。7 月には七夕コンサートが福光公民館において開催され、とちのみ支援会からは赤尾宏樹さんが出演し、地域の皆さんから大変喜ばれました。9 月にはケアタウン小矢部にて健康講座、手技療法、五箇山郷想の癒しの音楽を楽しんで頂きました。8 月、9 月には第 26 回富山県民ボランティア・NPO 大会の説明会があり、服部副会長と私が出席しました。各団体の代表が多数出席され、それぞれの個性を持った団体で、大変熱心に説明を聞いておられ、質問も活発になされました。10 月 18 日、富山市内のグランドプラザにおいて各団体の活動紹介、活動発表がありました。舞台では田川顧問がとちのみ支援会の紹介、これまでの活動について話し、赤尾宏樹さんが五箇山民謡等癒しの音楽を披露しました。私はミニ健康講座をブースで開催しながら、とちのみ支援会の発足から現在に至るまでの主な活動を紹介しました。柏崎や気仙沼での活動について大いに興味を持って頂きました。10 月 25 日はサンシップとやまにて「健康で長寿を保つための講演」を田川顧問が行い、大いに喜んで頂けたと確信しています。続いて赤尾宏樹さんが「新幹線開業記念曲」のトークをして、皆さんに大いに興味を持って頂いたと思っています。

今年度からとちのみ支援会では 3 つの部会を設けました。企画部会、医療福祉部会、青少年・婚活部会です。会員はいずれかの部会に所属しています。毎月最終木曜日には定例会を開催しています。欠席される方は必ずご連絡をしほしいと考えています。会員の皆さんにはとちのみ支援会の自覚とプライドを持って積極的に活動に励んで下さることに祈念します。

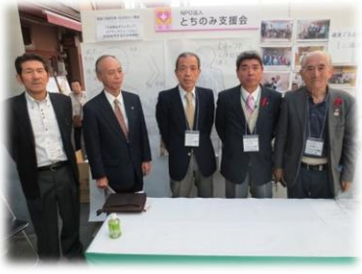
川　　柳

我が人生　福祉活動　一筋に

副会長（財務部長）　　中村　浩一



とちのみ会　介護施設で　ボランティア
とちのみ会　健康講座で　癒す唄
にぎやかに　公民館で　祭りかな
誕生日　友と楽しく　酌み交わす
とちのみ会　写真でわかる　歴史かな



活動報告

新幹線開業県民協働事業にちなんでの健康講座

顧問　　田川　春朗



本会では県内各地の長寿会や老人クラブ連合会等から要請があり、年に 4，5 回健康講座を開催しております。今回は県から平成 27 年 3 月 14 日より北陸新幹線が開業になりますので、県民が協働事業を通して開業を祝い、機運を高める企画を提案され、本会も参画することになりました。高齢であっても短期間で東京へ行き来できて、元気で日常生活を送られるようにと本会の健康講座のテーマは「健康で長寿を保つためには」と指定して頂きました。 既に 3 か所で講演させて頂き、癒しの音楽療法（新幹線にちなんだ曲）も披露したり制作逸話を紹介しました。

さて、人体は骨格、筋肉、血液、皮膚によって形成されております。細部はまだまだありますが、これだけで生きているわけではありません。それに精神即ち心があって一人の人間の生命がある訳です。しかし心とは人体のどこにあるのでしょうか？昔の人は「きも」にあったと思っていたようで、きも魂が大きいとか小さいとか言っておりました。中国では臍下丹田、へその下にあると言うし、インドではのどにあると言っています。西洋では心臓にハートがある無いなどと言っており、所によって随分違います。近年各臓器移植が行われておりますが、脳死と認定された場合、肉体が生きていて家族や本人が了解していれば、即手術して移植しております。心臓が停止して肉体も死に至れば移植手術をしても意味がないわけです。肉体をものと考えるか、精神・心・魂の神聖な器と考えるかは人それぞれに賛否のある問題ですので、今回はこの辺にしておきます。

健康に長寿を保つには先ず自分のことは自分でできることが一番重要であります。それには食生活、今までは知育、徳育、体育の三育を重要視されてきましたが、現在は食育が加わり、四育を重要視しております。医食同源、食生活によって知、徳、体全てバランスの取れた人間形成をしていかなければなりません。加えて適度な運動は大切であります。過度に歩行を続けて膝を痛めたり、腰痛に、坐骨神経痛になることがあります。早歩きで毎日時間を決めて行えば足腰も心肺機能も強化されます。あまり寒い日は外に出ず、手足の運動、手指の機能個別運動を家の中の暖かい部屋で行えば、十分であると思います。

認知の予防は家の中に閉じこもらず家族、家族以外の人と 3～4 人と楽しく会話すること、執着心と厭離し前向きに生きていくことです。健全なる精神は健全なる身体に宿るという格言があります。明朗は健康の父であり、愛和は幸福の母であります。肉体は精神の象徴であり、病気は生活の赤信号であります。（家族の誰かが病気になれば家庭は暗くなる）

世界のあちこちで宗教戦争が起きておりますが、かけがえのない生命が無残にも殺害されているニュースを見るにつけ本当に悲しい思いが致します。どのような宗教でも人が人を殺してもよいという宗教はないはずであります。その当時国のリーダーは完全に病気だと思います。宗教は崇高なもので人間はメンタル面で弱いところもあり、心の糧として信仰をすればよいはずです。反社会的や行動や家族崩壊にならぬように、また他の宗教も批判することもあまり感心しません。

本会は個性豊かな素晴らしいアイデンティティの持ち主が多くおります。既に斬新な発想で副会長の服部良三企画部会長は次年度の計画立案に努力されているものと承知しています。NPO 法人の活動も奥深いものがあり県内各団体も日々研鑽をされております。わがとちのみ支援会も地域社会が何を求めているかと、絶えずそのミッションを考え活動していかなければならないと思います。



2014 年 10 月 25 日サンシップとやまにて

寄　　稿

健やかな毎日のために

監事　　長澤　信治



とちのみ支援会には、いつもお世話になっており有り難うございます。

さて、人は誰しも未来の事は分かりませんが、「10 年後も健康で若々しく生きていたい」という思いは共通です。人は加齢とともに、身体機能に様々な変化が出てきます。

1. 頭髪が白くなったり、抜けたりする。
2. 目の水晶体のレンズ調節機能が低下して、視力が低下する。
3. 骨がもろくなって折れやすくなったり、背骨が曲がったりする。
4. 皮膚に弾力がなくなり、しわができる。
5. 脳の細胞が減少するために、記憶力が衰える。
6. 血管の壁がかたくなったりして、動脈硬化を引き起こし、体の色々な部分に障害が出る。

若々しく健康に加齢するには、どんなことに日頃から気をつければよいのでしょうか？

人間の老化は、20 歳を過ぎたころから始まるそうです。ある程度の年齢を重ねたところで、生活習慣病などの病気を引き起こすと考えられます。要因として、暴飲暴食・喫煙・飲酒・運動不足・食品添加物・ストレス・紫外線・大気汚染・遺伝等になります。





世界の中でも長寿国となった日本ですが、（平均寿命男性 77 歳・女性 84 歳）65 歳以上の半数の方が何らかの病気を抱えているといわれています。いかに健康寿命（健康年齢）を保つか、健康な状態で生活を送ることができるか、生活の質の向上がこれらの大きなポイントです。いつまでも元気に、ハツラツと、素敵に年齢を重ねるため、生活習慣と生活環境を見直しましょう。先ずは喫煙習慣のある方は改め、偏った食事は避け、バランスをとりましょう。ストレスの要因を減らすことも大切です。日頃から気配りをして健康寿命を保ちましょう。





俳　　句

観光に　雪吊り眺むる　兼六園

相談役　　林　國夫



観光の　魅せる雪吊り　兼六園
兼六園　雪吊り急ぐ　庭師かな
若い衆に　負けじと励む　庭師かな
造園士　老いてなお　技　磨きけり
立冬の　陽射しに映ゆる　富有柿
庭の木々　雪吊りすれば　美しき



活動報告

子育て支援サポーター　そして今年の活動

理事　　久津呂　武由



先日 11 月 12 日、ウィングウィング高岡 503 研修室において午後 2 時から 4 時まで「子育て支援サポーター」の研修会があり、とちのみ支援会からは田川春朗顧問と中村浩一副会長と私の 3 人で出席致しました。富山県厚生部児童青年家庭課から主査と主事、富山県家庭教育アドバイザーの谷口美紀子先生、高岡戸出西部保育園の園長・森井一代先生が出席され研修を受けた人は約 60 人ほどでした。主査が挨拶され、主事からは 25 年度子育てシニアサポーター活動状況等をお話しされ、谷口美紀子先生は「笑顔で優しく子育てサポーターの心得」という演題でいろいろ講義され、その中で子どもが育つ魔法の言葉（ドロシー・ロー・ノルト：右頁参照）を話されました。森井一代先生は実技で手遊び（折り紙）や歌の紹介をされました。大変勉強になりました。研修終了後、山崎康至富山厚生部長から「子育てシニアサポーター研修終了書」を頂きました。



6 月 22 日南砺市利賀村伝統文化伝承館にて「健康講座」

11 月 30 日（日）に新幹線開業県民協働事業としてディサービスセンター・りらいあんすで健康講座を株式会社カツヤマと NPO 法人とちのみ支援会の共催で行いにあたり、事前にチラシを持って服部良三副会長と私で会場周辺に配布しました。

本年の事業報告（25 年度 1～3 月期の分も含む）

1 月 26 日（日）高岡市福岡町・ロッジ山ぼうしにて「会員研修会」
2 月 6 日（木）高岡総合庁舎会議室にて「ボランティア NPO ミーティング」
2 月 23 日（日）南砺市福光公民館にて岩城俊平先生の講演で「第 4 回青少年健全育成講座」
3 月 21 日（金）ケアタウンおやべにて「手技療法ボランティア」
6 月 22 日（日）南砺市利賀村、伝統文化伝承館にて「健康講座」
7 月 5 日（土）南砺市福光公民館にて七夕コンサート「癒しの音楽療法」
9 月 7 日（日）ケアタウンおやべにて「手技療法ボランティア」
10 月 18 日（土）富山市グランドプラザにて「ボランティア NPO 大会」ブース・舞台
10 月 25 日（土）サンシップとやま「ボランティア NPO 大会」ワークショップ「健康講座」
11 月 19 日（水）ウィングウィング高岡研修室「子育てシニアサポーター研修会」
11 月 22 日（土）射水市にて健康講座のチラシ配布
11 月 30 日（日）ディサービスセンターりらいあんすにて「健康講座」
12 月 7 日（日）富山県総合体育センターにて「放課後児童クラブ指導員養成講座」

毎月最終木曜日午後 6 時より「青少年・婚活部会」
毎月最終木曜日 7 時より「定例会」その後「手技療法教室」

私はこれらの行事・活動にはすべて出席致しました。これからも皆さん協力し、とちのみ支援会の益々の発展に頑張りましょう。



11 月 30 日射水市ディサービスセンター「りらいあんす」での「健康講座」



2 月 23 日南砺市福光公民館での「青少年健全育成講座」　講師は岩城俊平先生。





3 月 21 日ケアタウンおやべでの「手技療法ボランティア」



4 月 24 日事務所にて総会





6 月 22 日南砺市利賀村伝統文化伝承館での「健康講座」

子どもが育つ魔法の言葉

子は親の鏡　　ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる





主　　張

未婚、少子化、人口減少の対策をどう考える



顧問　　田川　春朗

年々富山県に於いても顕著に人口の減少が進行しています。これは本県だけではなく全国的な傾向であります。これはまさに国力の衰退であり、社会の様々なシステムが機能しなくなる大変深刻な問題であります。これは行政や政治にだけ頼り委ねていても決して解決できることではなく、県民・市民が愛国心を持って真剣に考えなければならない問題ではないでしょうか？

私は今まで県の児童青年課の主催で「子育て支援サポート」の研修会や「放課後児童クラブの指導員」の研修会にも参加致しました。私ども戦後生まれの50、60、70 代の世代では皆定年になり、手の空いた人も多く見受けられます。このような皆さんが公徳心を持って、ボランティア精神に基づき、若い人たちのために社会貢献をすることが重要な責務ではないかと思います。これらの世代はまだ元気であり、子育て支援や学童保育支援はその気になればいくらでもできるのです。前述したように県でも有意義な研修会を企画しておられるので、時間が許す限り積極的に参加し、学んで頂きたいと考えています。担当の県職員の皆さんは休日返上で私ども参加者に深々とお辞儀をされたり、丁寧に対応されたりして、正に公僕精神の旺盛な方ばかりでした。講師の先生、保育士の先生方もその道のプロで、本当に解り易く教えて頂き、有意義な研修会で、今後共積極的に活かしていきたいと考えております。

私どものNPO団体も本年度後半より新規事業として「婚活部会」を新設し、未婚者の皆さんやその親御さんに対して、結婚をして子どもを授かり親となれば、親の苦労が解り社会人として立派な人間と認められるものであるとアドバイスをしています。また私どもは民間の結婚相談所と異なり非営利法人ですので、採算度外視の社会奉仕を目的として活動していることも特筆すべきことと自負しています。

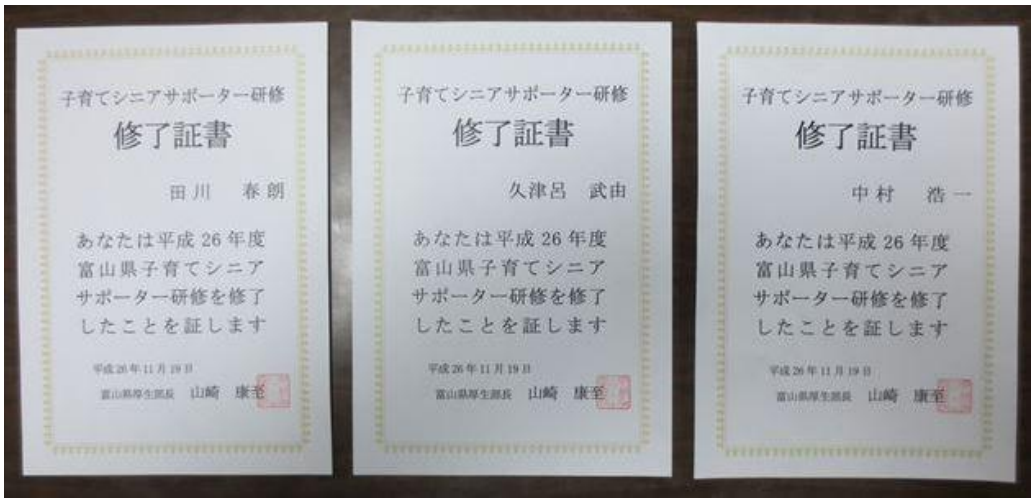
さて、人口減少の要因は様々に考えられますが、働き方の多様化が一因であると考えます。企業の非正規雇用、派遣会社からの斡旋で期限付き雇用など、雇用状態が非常に不安定になっているのも事実です。自ら望んでパートやアルバイトを選ぶ人もいますが、昔のように終身雇用を推進していくことも大事な施策ではないかと思います。このように雇用形態の不安定化に起因する未婚率の増加が少子化を推し進めている一因なのは明白な事実です。正規雇用で安定した働き方に制度変更し、子どももしっかりと産み育てられる環境に持っていくことが重要だと考えます。

昔、私たちの子どもの時代は各家に3～5人の子どもがいて、神社仏閣の境内で薄暗くなるまでみんなで遊んでいたものです。現代では学校から帰宅すると直ぐに塾に通い、親は仕事で多忙を極め、子ども同士のコミュニケーションもとれない状態です。引きこもりや不登校、いじめ等も増加している現在、一度立ち止まって古き良き時代を想起することも大事であります。現在は別居が当たり前ですが、やはり三世代同居で、貧しくても心豊かな暮らしに立ち帰ることを再考してみては如何でしょうか？あまりにも経済最優先の生活では自然の摂理に逆らい、人間としての本然的生活ができなくなっています。

本会はこのような社会情勢の変化に鑑み、時代のニーズに対応すべく、諸事業を遂行しています。公徳心と奉仕の理想を基本に持ち、各自の個性や能力を最大限に発揮できるよう、活動に精励し、全会員一致団結して前進して参りましょう。



11月19日子育てシニアサポーター研修にて



主　　張

森林の持つ多面的機能の恩恵について



会員　　野原　直人

私たちは身近な「木」や「森林」を目にし、心が落ち着くこともあれば、忙しさにまみれ何気なく通りすぎることもあります。また、最近、先祖から引き継いだ木で家を建てることを希望する人も見られるように、住宅建材としてなくてはならないものが木であります。その中で、森林の大切さについて叫ばれている今日ですが、なぜ大切なのかを整理してみたいと思います。

我が国は、国土の面積3,779万ｈａのうち、森林面積は2,508万ｈａであり国土面積の約３分の２が森林で覆われた森林国です。さらに森林面積の内訳は約６割に相当する1,343が天然林で約４割に相当する1,029万ｈａは人間が植えてきた人工林（スギ44%、ヒノキ44%、カラマツ10%）です。

このような広大な森林が先人達のご労苦により維持されてきたわけですが､森林により多くの恩恵を受けております。代表的なものを紹介すると、

①水源涵養機能　これは生活・農業・工業用水等として良質の安定的に利用することができるのは､森林が主に山間部に降った雨を貯留や浄化をしながら河川を通じて下流へ供給していることによる。土壌がスポンジのように吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送りだすことにより、洪水を緩和する人ともに、雨水を水資源として貯留し、併せて水質を浄化する機能を有していることであり、

②山地災害防止機能　健全な森林は表土が下草､低木等の下層植生や落葉落枝によりおおわれて、雨水等による土壌の浸食や流出を防いでおり、また、樹木の根が土砂や岩石を固定して、土砂の崩壊を防ぐ機能を有していることです。

また、他にも森林は幅広い公益的能を有している。例えば強風、飛砂、塩分、騒音から住宅環境を守る、さらに、健康の維持、増進やレクレーション活動の場としても重要な役割を担っている。このような､森林の恩恵を維持するために人間の働きかけによって健全な森林を積極的造成し育成する「森林整備」が必要となる。その詳細については紙面の関係で触れられませんが、その役割の一助を担っているのが森林組合であり、私はその一員として今後も森林の多面的機能が将来にわたって持続的に発揮されるよう森林整備に携わっていきたいと思います。



雑　　感

健康に大切なものは

副会長　　服部　良三



私が初めて本会に係わったのは健康と韓国文化の交流会的なイベントで、ある知人からお手伝いを頼まれたことが契機でした。その後入会し、地震災害地、介護施設の慰問、健康講座等に参加し、困難に直面した人々や高齢者のお役に立つことができるならばと頑張ってきました。

そもそも本会は鍼灸・マッサージ師の皆さんが核となって結成され、今でも月に1度、手技療法教室を通して身体の「ツボ」等への施術の特訓を受けていますが、なかなか上達せず難しく感じています。そんな折、私は3か月くらい前に足指を捻挫し、1/3 くらい腫れてしまって治療を諦めていたのですが、教室でお灸をしてもらったところ、嘘のように痛みと腫れから解放されました。血流をよくすることで症状が改善されたのだという説明を聞き納得いたしました。血液循環の重要性について改めて考えさせられました。

食生活はもちろん重要なのですが、運動の面において、適度な運動は健康維持の重要な要素です。私はウォーキングが長続きしなかったのですが、パークゴルフは楽しみながらやっているせいか長続きしています。

最後に最近聞いた耳寄りな話をご紹介します。ある夫婦が口論になった時のことです。ご主人も自分が悪かったとわかっていたのですが、意地を張っていて引き下がることができなかったそうです。そこで奥さんは間を取る意味で、その部屋から離れ、15分ほどしてから戻って、第一声「さっきは悪かったね。ごめん。」と言ったそうです。するとご主人も興奮状態からスーッと覚め、「俺も悪かった。ごめん。」と言って収まったとのことでした。夫婦の関係を始め人間関係でストレスを持ち続けることは健康に良くありません。賢い一言で場が収まるのなら、これが一番の健康法かも知れません。



雑　　感

ああ悟りの境地は程遠く

会員　　増田　太美男



最近、私が所属しています親睦会のメンバーが亡くなりました。飲み友達だったのですが、昨年の夏に、風邪の症状が悪化した状態で病院に行ったところ、即入院となりました。手術をして一度は退院し、その後何回も一緒に飲みましたが、一年くらい後に再入院をし、甲斐なく10月に亡くなりました。

また、この方が昨年入院していた時に、同じ病棟の同じ階に入院していた知人がいましたが、この知人も今年の春先に亡くなりました。昨年の秋から冬頃の親睦会等で、元気そうに見えて、回復されたものとばかり思っていましたので、突然の死にびっくりしました。

また、昨年の4月の総会で、元気にみんなと騒いで飲んでおられたある知人は、5月に病気が見つかり、入院されましたのですが、昨年の暮れ頃に亡くなってしまいました。

私も2年前に手術を受け、経過観察をしていますが、今のところ異常がなさそうです。

私たちは同期で、あと数年で70歳になる年齢ですが、彼らの病気はいずれも腫瘍でした。この年になると老化で病気になり易くなるのでしょう。このメンバーもこれから少しずつ欠けていくの



だろうと思うと、次は自分なのかも知れないと思うと、一寸先は闇で、明日という日があると思ってはいけないとも思う今日この頃です。

ところで、近年「終活」や「エンディング」とか、「断捨離」という事について見聞きすることがよくありますが、前にも挙げたような事を考えて、自分も早く何とかしなければならないと思うようになりました。私が逝ったら、残った家族は、何がなんだか分からなくて苦労するだろうと思ったからです。

そういう事ですので、いつ何時お迎えが来ても良いようにスッキリと整理整頓して、悟りの境地で感謝しながら一日一日を生きていきたいと思っています。

しかしながら、現実は思っても焦るだけで、一日の過ぎるのが瞬く間で、その日にやるべき雑用が精一杯で何にも前に進みません。つくづく思うことは私には悟りの境地は程遠く、毎日齷齪（あくせく）してエンディングを迎えるのでしょうか？

随　　想

求めよさらば与えられん

会員　　山中　貴子



「求めよさらば与えられん」、田川顧問よりとちのみ支援会のことを聞いたときに浮かんだ言葉です。なぜならボランティア活動に従事したいと思い、インターネットで検索した正にその日だったからです。

皆さん「ペイ・フォワード」という小説をご存知ですか？映画化もされましたから知っていらっしゃるかもしれませんね。「ペイ・フォワード」とは人から受けた善意を他の人に渡すという事です。小説の中では、少年が人に良いことをしてもらったら、他の３人に良いことをするという活動を思いつき、行動を起こします。そうすれば善意の連鎖が起こり、みんなが幸せになれると少年は考えました。

実社会においてペイ・フォワードを実際に行うことはそんなに簡単なことではなく、すぐに効果が出るわけでもないでしょうが、世の中はゆっくりと良い方向に向かうのではないだろうかと私は思います。ボランティアもすぐに効果や結果が出るものではないと思いますが、続けていけばボランティア精神が浸透し、良い世の中になっていくと思います。

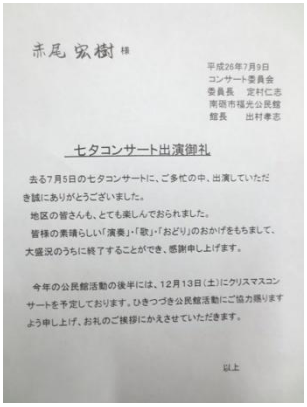


さて、当会のことを聞いた日に直ぐ入会し、現在に至るわけですが、なかなか活動に参加できず申し訳なく思っております。でも情熱は人一倍持っていますので、これからもご指導の程、宜しくお願いします。

お知らせ

今年度に予定している行事

12 月：会報発行、クリスマスコンサート（福光公民館）
1 月：会員研修会・新入会員歓迎会
2 月：青少年健全育成講座、りらいあんす健康講座
3 月：手技療法ボランティア（ケアタウンおやべ）、年度末決算


赤尾 宏樹 様

平成26年7月9日
コンサート委員会
委員長　定村仁志
南砺市福光公民館
館長　出村孝志

七夕コンサート出演御礼

去る7月5日の七夕コンサートに、ご多忙の中、出演していただき誠にありがとうございました。

地区の皆さんも、とても楽しんでおられました。

皆様の素晴らしい「演奏」・「歌」・「おどり」のおかげをもちまして、大盛況のうちに終了することができ、感謝申し上げます。

今年の公民館活動の後半には、12月13日（土）にクリスマスコンサートを予定しております。ひきつづき公民館活動にご協力賜りますよう申し上げ、お礼のご挨拶にかえさせていただきます。

以上

7 月に行われた福光公民館での七夕コンサート参加へのお礼　⇒

随　　想

第 26 回富山県民ボランティア NPO 大会に参加して

会員　　高田　達雄　（赤尾　宏樹）



去る 10 月 18 日、グランドプラザに於いて開催された NPO 大会に参加し、私は郷想歌を昨年同様ステージで唄い、また来年 3 月 14 日、北陸新幹線開業県民協働事業として、相方の五箇山在住の真知子さんと新曲の 1 つである「二人の風の恋三夜」を歌唱させて頂きました。また、私のボランティア一言メッセージは「つなげよう　あなたとわたしみんなの和」です。また、翌週 10 月 25 日はサンシップとやまで引き続き北陸新幹線開業県民協働事業の一環で「健康講座」があり、その後私は北陸新幹線についての展望といいますか、将来にかける想いと願い、私は五箇山出身ですので、これまで五箇山中心の曲を作って参りましたが、北陸新幹線開業に伴い、富山県を少しでも協力アピールできればと思い、八尾町、城端町の唄を制作しました。それに付随しまして、世界遺産登録 20 周年記念と五箇山トンネル 30 周年という事で、ミニアルバム 6 曲入りを来年 2 月上旬に発売する予定でおります。

世界遺産の合掌造りについて、私が生まれた昭和 20 年～30 年代はまだ多くの合掌造りがありました。しかし、住民の暮らし、生活様式が徐々に変化し、また茅などの維持管理は大変労力が必要とされます。五箇山では労力の無料奉仕、例えば家屋の建前や茅の葺き替えなどの手伝いを「結（ゆい）」あるいは「こうりゃく」と言って、食事やお酒が報酬として振る舞われ、ご馳走になるのです。国の指定の無形文化財は別として、近い将来なくなると思われた住民家屋が残っているのは遺産登録されたからではないでしょうか？

次に五箇山トンネルは全長 3070 メートルで、国道 304 号線で城端から梨谷トンネルへと通じ、県では 3 番目に長いトンネルだそうです。かつて昭和の終わりごろまで、五箇山は陸の孤島と呼ばれ、辺地と言われておりました。サンパチ（昭和 38 年）豪雪然り、大雪の年は約 5～6 ヶ月間、細尾峠は通行できませんでした。通年通行は五箇山住民の悲願でありました。僅か 30 年前のことですが、遠い昔のことのようにも思われます。

最後になりますが、本題のテーマ、北陸新幹線開業について、今から 40 数年前私は東京から故郷五箇山へ帰ってきました。当時はまだ村でしたが、村内に 10 メートルくらいの高さぐらいのポールが建っており、キャッチフレーズは覚えておりませんが、北陸新幹線を繋げようというような文字が書いてあり、本当に新幹線ができるのかと正直思いました。1970 年成立した全国新幹線鉄道整備によって、73 年に整備計画が決定し、40 数年を経て県民待望の夢がようやく実現、2015 年 3 月 14 日開業の運びとなりました。経済・産業・観光の多方面に多大なる経済効果が期待され、先人たちが培って来た富山県の知識・技・伝統をこれからの人たちが広く深くアピールして頂きたいと切に望みます。



10 月 18 日富山市グランドプラザでの「第 26 回富山県民ボランティア・NPO 大会」でブースで講演する小寺一夫会長(左)と、舞台で郷想歌を歌う筆者の赤尾宏樹(中)





10 月 25 日富山市内のサンシップとやまでの「健康講座」で講演する田川春朗顧問

随　　想

人生を生きる目的

総務部長　　廣田　秀徳



人生何のために生きているかと、誰もが１度や２度は考えたことがあるでしょう。「人生不可解なり」と死を選んだ藤村操のような人物もいますが、結論を得られないという前提で、多くの人々はそんなに深くは考えていないものです。多くの人にこの問いをすれば、答えは千差万別、お金、仕事、商売、地位・名誉、健康、家庭、子ども、学問、趣味、恋愛、愛情、友情、子孫繁栄、信心等、人によって重きを置いているもの、即ち価値観によって千態万状です。中には人間には人生の目的というものはないと断言する人さえいます。本当にそうでしょうか？

自然界を見ますと、全存在物は法則のように目的を持って存在しています。陽子と電子は原子を形成し、原子は分子を形成し、分子は動・植・鉱物を形成し、人間の各臓器は人間の身体を形成するという目的があります、地球などの惑星は太陽系を形成し、太陽系などの惑星系・恒星系は星団や銀河を形成しています。生物界は弱肉強食の法則により小さいものは大きいものに吸収され、大きいものの細胞の一部となって生きるようになっています。また人間の作ったテレビ、ラジオ、洗濯機、エアコン、パソコンや芸術家の創作した絵画や彫刻に至るまでも全て存在の目的を有しています。

ではその生物界で万物の霊長として君臨する人間が、何の目的もなくただ年を取って死ぬだけの存在でしょうか？もしそうだとすれば人間は単なる糞尿製造機であると言わざるを得ません。人間が生きる目的を見失ってしまったのは、目に見えるものしか信じなくなった結果、視野が狭くなった結果だということができます。もっと端的に言うならば身体を持った 80 年から 100 年の人生を終えたら全てがなくなると考えた結果だと言えます。本当にそうでしょうか？　死後の世界、死後の人生がないのでしょうか？現代人はとかく目に見えないものは存在しないと結論付けやすくなりました。

私たちの 80～100 年の人生の前に別の人生がありました。それは胎中の 10 カ月ですが、あの時の私たちはまさか次の 80～100 年の人生があるなどとは考えもしなかったのです。同様に今の私たちにとって死んだ後、別の人生などあるとは思わないのです。しかしもしこの死後の人生があるとすればこの 80～100 年の人生に目的があることになります。胎中時には次の 80～100 年人生をうまく生きられるように肉体の形成という目的がありました。この胎中時に失敗すれば障害児になり 80～100 年の人生を苦労するのです。同様にこの 80～100 年の人生は次の死後の人生においてうまく生きられるように魂の形成をするという目的がなければなりません。魂の形成に失敗すると次の人生で苦労せざると得なくなります。

この 80～100 年の人生では肉体は青年期をピークにだんだんと劣って年老いて遂には朽ち果てていきますが、精神（心）はいつまでも青年のようです。また様々な人と出会って老いれば老いるほど円満な人格へと成長し続けます。愛も子どもの頃は貰う一方でしたが、段々貰った分だけを返そうと思うようになり、遂には貰わなくても与えたいと思うような親心・無償の愛が育ちます。親や兄弟、配偶者や子ども達を通して、また祖父母や親族、近所の人々、友人・知人を通して「愛」や「人格」が育まれていきます。もしかするとこの老いない、朽ちないこの「愛」や「人格」を育んで、それを死後の世界に持って



いくことがこの 80～100 年の人生の目的ではないでしょうか？朽ちてなくなるものには目的などはないからです。

これがこの 80～100 年の人生の目的であるとするならば､私たちはどのように生きなければならないのかが分かります。決してお金の亡者や仕事の亡者、プライドと自己中心の考えに埋もれた生き方ではだめなのです。また生涯独身では不充分だとも言えます。配偶者を愛し子どもをたくさん産んで育てた人と、生涯独身者では愛の深さや大きさに自ずと差が出てくるのは明らかです。またこの自然界を見れは、全てが陽陰、プラス・マイナスの法則になっています。陽子と電子、プラス分子とマイナス分子、おしべとめしべ、雄花と雌花、オスとメスなどで、その全てが一つになろうとしています。であるとすれば万物の霊長の人間が独身でいていいのでしょうか？　男性の存在するのは女性にためであり、女性が存在するのは男性のためなのは明白な事実です。なぜ人間に凹凸が存在するのでしょうか？その存在の目的は何でしょうか？

「とちのみ支援会」の基本理念として、ボランティアを通しての「愛」と「人格」の成長と社会への貢献があります。この 15 年間、基本は無償奉仕で活動してきました。無償奉仕のボランティア精神を喜びながら実践することで「愛」と「人格」が成長していくからです。喜びと感謝に溢れた無償奉仕は愛の実践であり、魂を清く成長させることができるのです。また婚活事業を始めたのは一人でも多くの人が「愛」を育て、素晴らしい人生を送ってほしいからです。人生生きてきてよかったという満足感を持って一生を終えてほしいからです。そして多くの人々が人生の目的を達成したと自信を持って生き抜かれることを願っています。私たちと一緒に「とちのみ支援会」の活動を始めませんか？独身者の方は結婚により新しい次元の「愛」と「人格」を成長させて行きましょう。私たちの「とちのみ支援会」には人生をよりよく生きる可能性が溢れています。

お知らせ

会員募集と婚活登録のご案内

本会では随時会員を募集しています。ボランティア活動を通し地域社会に貢献することはもちろん、ボランティアの素晴らしさを地域住民に伝えること、そしてその輪を広げること、さらにボランティア活動に生きがいを感じて集った仲間の会です。医療・介護・福祉関係者はもとより、それ以外の方も、皆様の専門やボランティア精神を 120%生かす様々な取り込みを行っています。また、婚活事業を開設して、結婚相談、婚活イベント、結婚セミナーを準備しています。登録は無料です。結婚意志のある独身男女の皆さん、是非登録して下さい。

編集後記

マネジメント経営学者のピーター・ドラッカーは「非営利組織はミッションのために存在する。それは社会を変え、人を変えるために存在する。」と言っています。私たちの活動は私たち自身を変革させ、私たちの活動に関係する人を変革させ、社会を変革させるのであります。そのような観点から本会もミッションやヴィジョンをより一層アピールする必要があると思います。さて会報第 5 号ができました。ホームページ同様ご愛読ください。今回も会員の皆様の積極的な投稿がありました。これを契機に対社会的にも積極的に広報していきます。（廣田記）

平成 26 年 12 月 16 日印刷
平成 26 年 12 月 22 日発行
特定非営利活動法人　とちのみ支援会会報　とちのみ
編集　NPO 法人とちのみ支援会事務局
発行　NPO 法人とちのみ支援会
発行責任者　廣田秀徳
所在地　（〒932-0051）
小矢部市今石動町 2 丁目 13－13
電話　0766－67-3899
FAX　0766－61-3525
hyde.hirota@gmail.com